

7 平成16年度教員長期研修（県立美術館派遣）

研修の概要

学校と美術館との連携を推進する方策のひとつとして教員長期研修生を昨年に引き続き受け入れた。この研修は県教育委員会義務教育主管課が所掌するもので、当館派遣では図画工作科、美術科及び総合的な学習の時間等全般を対象とする教育実践に役立つ課題を研修することを目的としている。

研修の実施に当たっては、各研修生がそれぞれの課題に沿って研修テーマを設定し、研修の具体的な内容や方法、日程等を計画して自主的に進める。当館としては研修をサポートするとともに、美術館諸事業への参加等の研修機会を提供した。

平成16年度は中学校教諭1名を研修期間1年間で受け入れた。研修終了後は教育現場での研修成果の検証・発展が期待される。

研修の実施状況

研修生氏名	小 田 繁
所属校	廿日市市立野坂中学校
研修題目	生徒の鑑賞意欲を高める鑑賞指導の工夫 －地域の美術館収蔵作品を題材とした鑑賞授業を通して－
研修題目設定の理由	生徒の鑑賞への関心を高め、美術館で実物の作品と出合う一歩とするため、生徒が実物に接することのできる県立美術館の収蔵作品を題材とした鑑賞指導を研究する。
研修内容	○中学校における鑑賞指導上の課題の調査と分析 ・廿日市市・広島市・山県郡の中学校教師40名・生徒346名へのアンケート調査 ○所蔵作品を活用した中学生用教材研究、鑑賞授業の立案、検証授業の実施 ○美術館諸事業への参加
研修日程	4月 研修題目の設定、研修計画の立案 4月～ 所蔵作品を活用した中学生用教材研究 5月～ 中学校における鑑賞指導上の課題の調査と分析 9月～ 中学校における鑑賞授業の立案 10月～ 検証授業の実施 1月～ 研修のまとめ 3月 研修発表会の開催 年間 美術館諸事業の体験・実習
研修の成果	○中学校のための授業案 ・年間指導計画 ・県立美術館所蔵作品を利用した鑑賞授業案 ・県立美術館所蔵作品を利用した「総合的な学習の時間」題材 ○中学生のための夏休みの鑑賞課題・ワークシート ※ 研修成果は当館ホームページで公開中 (http://www1.hpam-unet.ocn.ne.jp/)

検証授業風景

